

熱中症を予防して 元気な夏を!

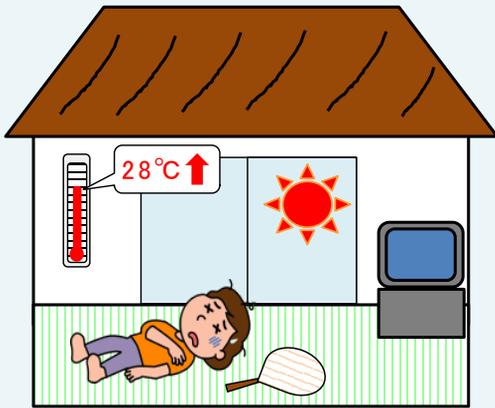
夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。
熱中症を知って、コロナ禍の中でもしっかり予防
しましょう!

熱中症は屋内でも発生します!!



飯田下伊那地域における、熱中症疑いによる搬送人員は91人（※令和2年調査）で、そのうち、**屋内**で発生した方の搬送人員は58人と、全体の**約6割**を占めました。

また、年齢区分別では、**高齢者**（満65歳以上）の搬送が60人で、全体の**約7割**を占めました。
高齢者は、体温を下げるための身体の反応が弱くなっており、のどの渇きや暑さを感じにくく、
熱中症になる危険性が高いので、周囲にいる方も声を掛けるなど様子の変化に注意しましょう。



屋内

約6割

(58人)

発生場所
(91人中)

屋外

約4割

(33人)

高齢者

約7割

(60人)

年齢区分
(91人中)

その他

約3割

(31人)

※令和2年調査：令和2年5月1日～令和2年10月5日まで

熱中症とは？

温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中にじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

※裏面に予防のポイントを記載しています

熱中症の症状と応急手当

軽症

- めまい
- 立ちくらみ
- 足がつる
- 手足のしびれ

- 頭痛
- 吐き気
- 体がだるい
- 体に力が入らない
- 集中力や判断力の低下

重症

- 意識障害（呼びかけても反応が悪い、会話がおかしいなど）
- けいれん
- 普段どおりに歩けない
- 意識がない

＋熱中症の応急手当＋

- ＋ 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- ＋ エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

体が熱ければ保冷剤などで、脇の下・太もものつけねなどを冷やす



症状が改善されないときは、医療機関へ！！

飲めるようであれば水分を少しずつ頻回に取らせる

こんなときは、すぐに
119番 救急車



コロナ禍における

熱中症予防のポイント

※環境省・厚生労働省リーフレット参考

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- 暑い日や暑い時間帯は無理しない
- 涼しい服装にする
- 急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう

- 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう

- のどが渇く前に水分補給
- 1日あたり1.2リットルを目安に
- 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに



4 日頃から健康管理をしましょう

- 日頃から体温測定、健康をチェック
- 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう

- 暑くなり始めの時期から適度に運動を
- 水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- 「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度



【熱中症情報に関するホームページ】

◆ [熱中症情報\(総務省消防庁\)](#)



◆ [環境省熱中症予防情報サイト\(環境省\)](#)



【お問合せ先】

飯田広域消防本部

警防課企画広報係

電話：0265-23-0119（代表）

FAX：0265-22-0099

